



# ハチ取り器をつくってみましょう！！

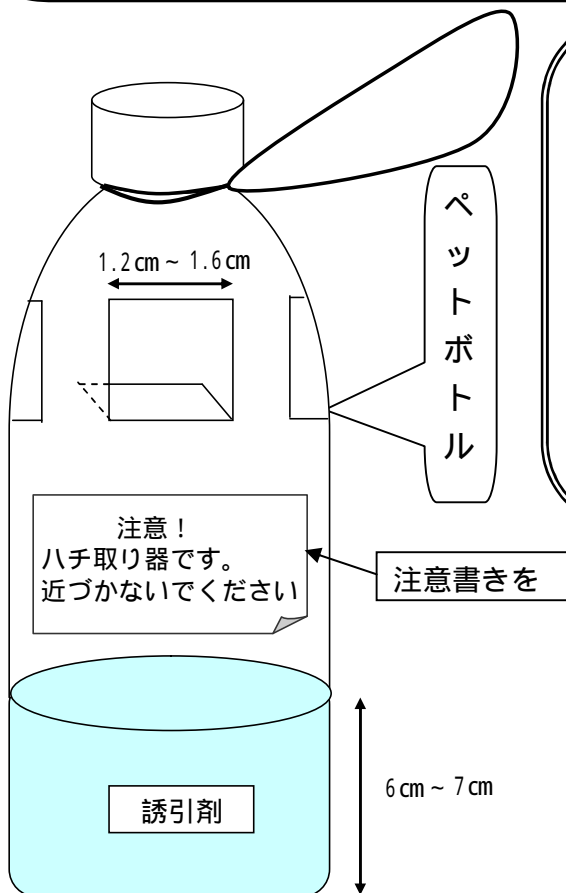
毎年のように家の軒下や庭木などにスズメバチの巣を作られるところでは、春に軒下や庭木にハチ取り器を設置して女王バチを駆除することで巣づくりの予防ができます。誰でも簡単に作れますのでご紹介します。

## 用意するもの

- 1) ペットボトル (1.5 L)  
(透明でつるつるしたものの。炭酸系飲料の凹凸がないものが良い。)
- 2) ひも又は針金
- 3) カッター
- 4) 誘引剤 (下記参照)

## 作りかた

- 1) ペットボトル上部に1.2 ~ 1.6 cmの正方形の穴を2 ~ 4箇所開けます。切り込みを入れるのは、正方形の上部と左右で底となる部分は残します。(この時点では切り込みを折らないでください、誘引剤がこぼれる可能性があります。)  
穴が大きいとハチが逃げてしまいます。穴が小さいとハチが入りません。
- 2) ひも又は針金を取り付けて、つり下げることができるようにします。
- 3) 誘引剤を6 ~ 7 cmの高さまで入れます。
- 4) 1) で作った切り込みを中側(外側に折るとハチが逃げてしまいます)に折って入れます。



## 誘引剤の作りかた

- (ハチ取り器1.5 Lペットボトル1本分当たりの量)
- ・ 日本酒(ワイン・焼酎でも可) 180 mL
  - ・ 酢 60 mL
  - ・ 砂糖 75 g
- を**加熱せず**にかき混ぜてください。

発酵臭でハチが寄ってきますが、羽が濡れることにより外に出にくくなり、誘引剤を腹いっぱい飲むことによって飛べなくなり溺れて死んでしまいます。酢を入れることでミツバチが寄りません。

## ハチ取り器の取扱いについて

- ・ ハチは死んでいても刺される場合があります。針には毒も残っているので、取扱いには注意してください。
- 以下の諸注意もご覧ください。

## 設置について

- ・ 設置するのは、ハチが活動しない夜間か早朝に行いましょう。
- ・ 事故防止のため、人の背より高い所(2.5 m以上)に設置しましょう。
- ・ 人が通る場所や作業する場所から3 m程度離して設置してください。
- ・ 日陰に取り付けましょう。(強い日光が当たると誘引効果が落ちます)

## 諸注意

- ・春（４～６月）に設置してください。女王バチを駆除できます。  
７月以降は女王バチに代わり働きバチが飛んでくるようになり、かえってスズメバチをおびき寄せることとなりますので設置しないでください。
- ・ハチは死んでいても刺される場合があります。取扱いには注意してください。
- ・必ず注意書きをペットボトルに貼っておきましょう。
- ・誘引剤が減りすぎるとハチが逃げてしまいます、その際は継ぎ足しましょう。
- ・誘引剤は１～２週間で交換してください。
- ・使用後のハチ取り器は、容器と中身を分別して廃棄してください。

市ではスズメバチの巣の撤去を行っています。  
詳しくは、環境保全課へお問い合わせください。

環境保全課 生活保全担当      25 - 1111（内線3132）